

事業実施計画書

所在地	東京都文京区後楽○ - ○
団体名	NPO 法人○○
代表者名	東京 太郎
事業名称	○○研修検証事業
事業の概要 (400 字以内)	日本介護福祉士会の生涯研修体系に基づく○○研修について、研修受講者の行動特性の変化に着目した研修効果の検証はこれまで行われていない。本事業では、○○研修の受講者に対し、所属先の協力を得て研修受講前～研修修了後のコンピテンシー評価の比較を行うことで、研修が個人の行動特性に与える影響を検証するとともに、○○研修の課題を分析する。
事業の区分 (該当する項目に○)	<p>1) 募集型事業</p> <p>2) 提案型事業</p> <p>① 全国に普及することが望まれる新たな着眼点のある事業</p> <p>② 既存の独自性がある取組みの効果を検証する事業</p> <p>③ 3. その他の事業 () の事業</p> <p>※上記の目的に合致すると判断した理由</p> <p>生涯研修体系の維持向上のため、各種研修の効果検証、研修プログラムのアップデートは重要であると考えられるが、○○研修の検証は日本介護福祉士会においても着手されておらず、有意義な取組であると判断した</p>
事業実施期間	令和○年 8 月～令和○年 3 月
事業実施体制	<p>○○研修検証委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 1 名 (NPO 法人○○理事長) ・委員 外部有識者○名 ○○ (AB 大学 CD 学部教授) ●● (EF 大学 GH 学部教授) ・ ・ ・ ・事務局 ○名 (有期雇用職員○名含む)
事業実施体制	<p>○○研修受講者○名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○研修研修中の各講義・演習が、受講者の行動特性のどの領域に影響を与えているのか、影響度合いの大小を含め効果検証を行う ・効果検証を踏まえ、○○研修の課題の洗い出しを行う ・上記 2 点を踏まえ、○○研修のプログラム改善案および○○研修の真の対象像を提案することを目標とする ・これらにより、本事業を通して得られる効果として○○研修の質の向上や、○○研修受講者増のための効果的な周知広報が可能になると考える

企画の評価において重視します。この事業を通してどのような効果が得られるのか、具体的にご記入ください。

実施体制、スケジュール、
備考欄の内容は、応募者が
希望する助成額の根拠とな
るため、希望助成額の根拠
が分かるようにできるだけ
具体的に事業計画をご記入
ください

様式 3

<p>目標達成のために 講じる措置 (500 字以内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のノウハウの活用 コンピテンシー評価については、X 社^{注1}が公開している人事評価シートを参考に、介護現場での評価に馴染むよう一部内容を見直した上で実施する ・事前課題の設定 受講者には申し込みの時点でコンピテンシー評価表を配布し、研修開始前までに自己評価に加え所属先の上長の評価を記載したものを事務局へ提出するよう案内する ・受講者の所属先への情報共有、協力関係の構築 受講者の所属先に対し、研修計画やプログラム概要を提示した上で、研修の状況等の情報共有を随時行うことで、研修後のコンピテンシー評価など、受講者が必要とする支援を受けられるよう、協力関係を構築する <p>注 1) X 社ホームページ (http://www.)</p>
<p>事業実施スケジュール</p>	<p>8 月～：〇〇研修申込受付 コンピテンシー評価（受講前評価）実施</p> <p>10 月：〇〇研修実施（～11 月までの期間で〇日間） 第 1 回検証委員会</p> <p>12 月：コンピテンシー評価（修了後評価）実施 データ集計、分析</p> <p>1 月：第 2 回検証委員会</p> <p>2 月：研修効果検証、課題分析 報告書作成</p> <p>3 月：第 3 回検証委員会</p>
<p>備考</p>	<p>第 1 回検証委員会： コンピテンシー評価（受講前評価）の結果分析</p> <p>第 2 回検証委員会： コンピテンシー評価（修了後評価）の結果分析 報告書の方向性検討</p> <p>第 3 回検証委員会： 報告書の確認</p>

引用文献やホームページなど、根拠は計画書中に明確にご記載ください。
また、参考資料があれば適宜添付資料としてご提出下さい。